

第5期 ワカモノ記者

2年間の活動を振り返って

☎ 広報ブランド戦略課 ☎ 027-898-6642

市民編集委員「ワカモノ記者」第5期メンバーが3月末で2年間の任期を終えます。これまで市内のさまざまな場所で取材・発信してきた活動を振り返ります。



- Q1 印象に残っている取材は？
- Q2 ワカモノ記者の活動を振り返っての感想



齋藤 舞奈

A1 給食センターの取材が最も印象に残っています。私は小中学生の時は好き嫌いが多く、あまり給食が好きではありませんでした。しかし、今回の取材を通して、朝早くから頑張っている人や大切に野菜を育てている人を目の当たりにして、給食をまた食べたいと思うようになりました。とてもおいしそうにたくさん食べている子どもたちの笑顔も印象的でした。

A2 普段であれば関わることのできない人たちと関わりを持てたことがとてもうれしかったです。多くの人と関わる中で、前橋市は本当に多くの人に支えられて成り立っているのだと実感することができました。また、地域の人たちとの関わりが増えただけでなく、ワカモノ記者メンバーと出会えたこともとてもうれしかったです。これからも前橋の魅力をたくさん発見していきたいと思っています。



中島 千尋

A1 農家の木島さんと一緒に小松菜を収穫し、インタビューをしました。毎日、朝早くから農作業をする人や給食センターで調理をする人がいて、学校に給食が届けられていることを、取材を通して実感できました。こうした給食の裏側を子どもたちに届けるとともに、子どもたちがおいしく給食を食べる姿を農家さんや調理技師さんに届けられるようにと強く感じながら、広報紙を作成しました。

A2 前橋といっても広く、日常では気づけなかった場所や人、地域活動に出会えた2年間でした。ワカモノ記者でなければ出会えなかった人たちと出会え、直接話を聞いたことは、とても贅沢で、貴重な経験であり、私の見える世界を大きく広げてくれました。前橋を歩いていると、ここにはどんな人がいるのだろうか、どんな場所なのだろうかと強く興味を惹かれます。また、多くの人が広報紙に目を通していても気づくことができ、広報紙の重要性も強く感じています。2年間を通して、前橋の解像度がより一層上がり、より大好きな街となりました。

- A1** 印象に残っているのはザスパの取材です。ザスパのイメージは「サッカー」でしたが、ザスパには、サッカーの練習場所だけでなくカフェやワーキングスペースなどもあって驚きました。館内を見学し、さらにザスパについて知ることができました。
- A2** ワカモノ記者の活動で、前よりも前橋のいろいろなことを知ることができました。ワカモノ記者の活動によって、会えた人や行くことができた場所もあり、貴重な経験ができました。



本田 瑞姫

- A1** 「市政情報をラジオで発信中」と「小川市長に聞いてみよう」の二つは特に印象深いです。ラジオ局の取材では、収録や編集の現場でプロの熱意を目の当たりにしたことに加え、番組に出演し、ワカモノ記者の活動をラジオで発信できたことがうれしかったです。小川市長への取材は、普段なかなか関わる機会のないリーダーとの対談で、初めは全員緊張していました。しかし、話をするうちに、世代や立場が異なっているがゆえの新鮮な視点と、親近感のどちらも発見し、楽しくインタビューを終えました。
- A2** 第4期ワカモノ記者としての活動も含めた4年間で、前橋マニアになれました！広報紙の取材以外にも、自分で調べた施設やイベントに出向き、自主的な取材やSNS投稿を頑張りました。そのかいあってか、前橋を歩いていると「ワカモノ記者の茂木さん！」と声をかけられる機会が増え、驚きとともにうれしさ、やりがいを感じていました。そして、地元愛を共有できる仲間に出会えたのも大きな収穫です。ワカモノ記者として一緒に活動できた縁や、もらった刺激を大切にしたいです。



茂木 春香

- A1** 学校給食の農家さんの取材です。仕事内容ややりがいなどを取材し、農家という仕事の魅力を知ることができました。また、実際に小松菜の収穫体験をし、農作業の大変さややりがいを感じることもできました。体験を踏まえて記事が書けたことで、学びが知識だけでなく、自分自身の経験として実感することができ印象に残っています。
- A2** ワカモノ記者に挑戦したいと思った理由が、前橋市をもっと知りたいと思ったからでした。ワカモノ記者を通じて、いろいろな人に取材し、多方面から前橋市について知ることができました。活動する中で、改めて前橋市は魅力のあるまちだと感じました。素敵な思い出もたくさんできたため、この5人でワカモノ記者の活動ができてとても楽しかったです。



師田 紗帆

ワカモノ記者 第6期メンバーも募集！

広報まえばしで、市内のさまざまな事を若者目線で取材し、情報発信するワカモノ記者を募集。取材や2カ月に1回程度開催する編集会議に参加し、広報紙編集に携わったり、SNSでの情報発信をしたりする無報酬のボランティア活動です。

事前に参加者向けの研修会も開催。文書の書き方や写真撮影などの基本を学びます。また、取材には職員が同行。編集などの経験がなくても安心です。活動予定や内容など、詳しくは本ホームページをご覧ください。

☎ 4月1日(水)時点で市内在住・在勤・在学の18歳～29歳、10人程度(選考)

任期=令和10年3月31日(金)まで

☎ 3月17日(火)までに申し込みフォームで



HP



ワカモノ記者 Instagram
動画でも発信中！